

## 1 全国統一システムへの移行

### 現状と課題

- 都道府県ごとに閲覧システム設け情報公開
  - ・スマートフォンや外国語対応等を含め公表方法に差がある。
  - ・複数の都道府県の医療機関を検索するには、各都道府県の検索サイトにアクセスすることが必要
- 運用状況、公表情報の精度に、都道府県間で差がある。



- 国が全国の病院等を検索可能な医療情報サイト（全国統一システム）を構築
- 各都道府県に報告された医療機能情報を統一的に公表
- 令和6年度から、東京都医療機関案内サービス（ひまわり）サイトは、全国統一システムに移行

## 2 現行システムと全国統一システムの主な機能比較

○全国統一システムは、現行の検索項目・サイトが充実している都などを参考にし、構築が進められている。

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」		全国統一システム (「全国統一ページ」と「各都道府県ページ」により構成)
東京都医療機関案内サービス「ひまわり」HP (各都道府県により異なる)	Webサイト	全国統一システム専用HP (全国一律)
国が定める標準項目 + 都独自項目	提供する情報	国が定める標準項目 (+ 都独自項目) (※)
都内医療機関	検索範囲	全国の医療機関
<b>登録医療機関全て</b>	<b>自動音声案内</b>	<b>当番医及び休日夜間急患センターのみ</b>
<b>あり</b>	<b>相談員による案内</b>	<b>なし</b>

(※) 各都道府県専用ページにおいて、個別の公表項目を設定可能

## 3 今後の対応

○全国統一システムへの円滑な移行とともに、全国統一システム稼働後も、都がこれまで充実させ、現行ひまわりにおいて提供してきたサービス水準が維持されるよう、所要の対応を実施